



水は入れ物に入ると、どうして水平になるの

水は水の分子からできている

ほとんどの物質は、固体・液体・気体に分けられます。ふつうの水は液体、氷は固体、目に見えない水蒸気は気体です。

氷は、入れ物に入れても、形は変わりませんが、水は、入れ物に入ると、入れ物によって、それぞれ形が変わります。

水は、とても小さい水の分子が、たくさん集まってできています。分子とは、物の性質を失わないで、分けることができる、いちばん小さいついで、顕微鏡でも見ることもできないほど、小さいものです。

地球の引力（重力）と液体の性質のため

水が氷のときは、分子と分子の間が、おたがいに引きつけ合っていて、形がくずれません。ところが、水の分子は、ふつう、あちこち自由に動き回っています。この状態のとき水は液体です。液体は、決まった体積をもっていますが、分子が自由に動き回り、決まった形になりません。

また、液体は固体に比べて、分子と分子の結びつきが弱いので、すぐに、形がくずれてしまうのです。

地球には、引力（重力）といって、地球上のすべての物質を、地球の中心に引きつけようとする力が、はたらいています。それで、水のように形がかわるものは、地球の引力によって水平になるのです。（監修・青木 国夫）

